

令和7年度 第2回 大阪市立栄小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立栄小学校
校園長名 岸本 昌悟

日 時	令和7年11月10日（月） 18時～19時（1時間）					
場 所	大阪市立栄小学校 1階 生涯学習室					
出席者	委員など	浅田正仁(会長) 門田高志(委員)	中田正孝(委員) 瀬川晴美(委員)	北口武司(委員) 福田奈奈(委員)	脇原健二(委員) 萬代加代子(委員)	
	校園	岸本昌悟(校長)	村松勇介(教頭)	山本大斗(教務主任)		
	区役所	濱田俊通(課長)	高橋貴志子(係長)			
議題	(1) 令和7年度 全国学力学習状況調査の結果について (2) 令和7年度 運営に関する計画 中間評価について (子どもアンケートの結果を含む) (3) 学校協議会運営要項について (4) その他					
協議要旨	協議の結果		意見の概要			
	(1)	全国学力・学習状況調査における協議の結果は、次のとおりである。 • 国語、算数、理科の正答率が市平均を下回っている。 • 無回答率の割合が全国平均に比べて高い。 • 読み取る力を中心に高めることが必要である。	○算数では、割合に関する問題で、もとにする量を1とみる力が十分に育っていない状況があった。理科では、金属が電気を通すことや、鉄が磁石に引き付けられることなど、基本的な知識・技能の問題に課題があった。生活経験を豊かにするとともに、授業で苦手意識を抱かせないような工夫が必要である。			
	(2)	運営に関する計画について、数値目標を掲げている項目に関して、目標を上回っている項目と下回っている項目に状況が分かれていた。	○給食後に歯みがきタイムを導入した効果が表れている。学校のきまりやルールを守ることについては、概ね良好である。「自分にはよいところがある」の肯定的な割合が低いため、進学先中学校ともあわせて分析と対策が必要である。			
	(3)	学校協議会運営要項の第3条「委員4～6名で組織」を、「委員4～10名で組織」に変更した。	○次年度、新たな委員を追加するかどうかについては、改めて検討することを確認した。「関係校の教職員1人を必ず含む」という内容は、以前に失われた経緯があったようなので、その委員の追加についても再検討していく。			
協議資料	<input type="radio"/> 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 <input type="radio"/> 令和7年度「運営に関する計画」中間評価 <input type="radio"/> 令和7年度 子どもアンケート中間集計 <input type="radio"/> 学校協議会運営要項					
備 考	傍聴者[0]名					